

## 自動運転実証調査事業について

### 1 自動運転実証調査事業(令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金)

#### (1) 事業概要

地域づくりの一環として行うバスサービス等の自動運転化に伴う経費に対して、地方公共団体・民間団体等が、その費用負担を軽減するため当該経費の一部を助成する事業等に要する経費を補助(補助率10/10、上限1.8億)し、経営面、技術面、社会的受容性等の実証を推進することで、自動運転技術を活用した持続可能な移動サービスを構築する。

### 2 甲斐市の提案内容

#### (1) 事業構想

##### ① 全ての市民がいつでもどこでも公共交通で移動できる地域の実現

運転免許証返納後の高齢者や子ども等の交通弱者が、自分の意志で公共交通を通じて自由に移動ができる地域を実現するため、市民バス、AIオンデマンド交通に自動運転技術を導入し、市域全域を網羅した公共交通ネットワークを構築する。

##### ② 持続可能な地域公共交通事業モデルの構築

自動運転技術の導入により、公共交通における人件費の削減を図り事業の持続可能性を高める。

##### ③ ワイナリーを中心とした観光回遊都市の実現

主要観光産業であるワイナリーや昇仙峡等観光拠点の回遊手段として自動運転技術を活用する。また、観光客需要を公共交通に取り込むことで公共交通の事業性の改善を図る。

#### (2) 事業実施体制

代表団体：甲斐市

参加団体：株式会社エクセイド、株式会社日建設計総合研究所

#### (3) 令和5年度の取り組みについて

##### ① ゴルフカート型自動運転車両の実証運行

急勾配で狭隘道路が多く、また高齢化が進んだ地域において、市民バス停留所や公共施設までの移動手段としての自動運転技術の導入可能性を検討するため、既に地域住民による買い物支援等を通じて支えあいの体制が構築されており、自動運転に対する受容性が高いと見込まれる敷島台を実証フィールドとして、ゴルフカート型自動運転車両の実証運行を行う。

##### ② 自動運転車両乗車体験会の開催

公共交通の利用促進と自動運転技術に触れる機会を提供するため、自動運転車両の乗車体験会を行う。

(4) 事業費

総事業費：10,000,000 円 ※補助申請額と同額（補助率 10/10）

内訳：6,000,000 円（車両のリース料、車両調律費、地図データ作成ほか）  
4,000,000 円（アンケート調査費、コンサルフィーほか）

(5) 採択結果

令和5年10月4日付けで採択

(6) 今後のスケジュール

令和5年11月 9日～ 運行準備

11日～ 関係者試乗

19日 自動運転車両乗車体験会の開催

(7) 自動運転車両乗車体験会概要

① 日時 令和5年11月19日(日) 午前9時から15時

② 会場 敷島保健福祉センター周辺

③ 内容

- ・自動運転車両（レベル2）乗車体験
- ・アンケート調査（公共交通について、自動運転についてほか）
- ・甲斐市民バス、かいのりのPR（会員登録受付会ほか）
- ・EVバスの展示（山梨交通株式会社と協議中）

(8) 参考

【自動運転車両】

